

CitiDISK DV2 取扱説明書

Windows / Macintosh



本書に関する注意事項

本取扱説明書は、製品の都合により、予告無く変更することがございます。また、本書に記載される会社名ならびに商品名は、各社の登録商標となっています。

安全にお使いいただくために

本書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、以下の絵表示で注意を呼びかけています。その表示と意味が次のようになっています。

<_ 警告！>

誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

<_ 注意！>

誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

<_ 禁止！>

この表記は、禁止の行為であることを示しています。

< 表記 >

この表記は、行為を規制したり、指示する内容を示しています。「表記」の部分に、具体的な指示内容が示されています。

<_ 注意！>

< 電源プラグを抜いてください！ >

次のような異常の場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、サポートセンターか、販売元にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。

- (1) 機器に発熱、異臭、発煙、異常な音などが認められた時
- (2) 機器内部に液体や金属が入った時
- (3) 機器を落としたり、破損した時

< 電源プラグを抜いてください！ >

機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。移動時にコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

<_ 禁止！>

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷み、火災・感電の原因となることがあります。

<_ 禁止！>

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

<_ 禁止！>

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして

けがの原因となることがあります。

< 禁止！ >

機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしないでください。 バランスが崩れて落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

< 禁止！ >

機器の上に水などの入った容器または金属物を置かないで下さい。 こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

< 禁止！ >

湿気や埃の多い場所、油煙や湯気があたるような場所での使用はさけてください。 火災・感電の原因となることがあります。

サポートおよび保証について

• サポート内容

アマムレット株式会社は、本製品のご購入日から1年間、通常の使用のもとで、材質および製造上の物理的不具合がないことを保証します。万一、この期間内に製品に不具合が発見された場合、サポートセンターに連絡して下さい。連絡する際には、必ず保証書をご準備下さい。

• お問い合わせ窓口

製品に関するトラブルが発生した場合にはサポートフォームからお問い合わせすることができます。サポートには情報の収集が必要不可欠ですので、できるだけトラブルの具体的な内容を記載して下さい。後ほど、弊社のサポート担当よりご連絡をさせていただきます。

* サポート URL: <http://www.amulet.co.jp/CitiDISK/support-dv.html>

動作しないという場合でも、事前の連絡無く送付された場合には、有償修理扱いとなる場合がございますのでご注意ください。

• 連絡先

アマムレット株式会社 サポートセンター

TEL. 03-5295-8418

FAX. 03-5295-8424

Email: support@amulet.co.jp

1 はじめに	6
1.1 特徴	7
1.1 記録可能なファイル形式	8
1.3 パッケージ内容	8
2 基本仕様	9
2.1 サポートするコンピュータシステム	9
2.2 サポートするオペレーティングシステム	9
2.3 録画時間	9
2.4 互換 DV カメラ	9
2.5 ファイル形式	9
2.6 バス電源と外部電源について	10
2.7 内蔵リチャージブルバッテリー	10
3 操作説明	11
3.1 注意事項	11
3.2 主電源スイッチ(バッテリーからの電力供給スイッチ)のオン・オフ	11
3.3 DVカメラとケーブルを安全に保つ	11
3.4 ベルトに装着する	12
3.5 電源のオン・オフ	12
3.6 バッテリー充電と外部電源	13
3.7 記録するファイル形式の設定	13
3.8 カメラモードでの録画	14
3.9 再生モード(VCRモード、VTRモード)での録画	14
3.10 クイック消去	15
3.11 外部FireWireハードディスクとして使う	16
4 ユーティリティのインストール	17
4.1 ユーティリティのインストール(Windows)	17
4.2 ユーティリティのインストール(Mac OS 9.2.x)	19
5 使用方法(Windows 2000/XP)	21
5.1 ディスクへの署名	21
5.2 フォーマット/パーティション作成(Windows 2000/XP)	22
5.3 ドライブの取り外し(Windows2000/XP)	26
6 使用方法(Windows ME)	27
6.1 ソフトウェアドライバのインストール	27
6.2 フォーマット/パーティション作成(Windows ME)	27
6.3 ドライブの取り外し(Windows ME)	27
7 使用方法(Mac OS 9.2.x)	28
7.1 フォーマット/パーティション作成(Mac OS 9.2.x)	28
7.2 ドライブの取り外し(Mac OS 9.2.x)	30
8 使用方法(Mac OS X)	31

8.1 Mac OS Xで iMovie を使用する	31
8.2 フォーマット/パーティション作成 (Mac OS X)	31
8.3 ドライブの取り外し (Mac OS X)	32
9 付録	33
9.1 仕様	33
9.2 編集用ソフトウェア対応表	33
9.3 ファームウェアのアップデート (Windows のみ)	34
9.4 ファイル形式の概要	36

1 はじめに

この度は CitiDISK DV2 をご購入いただきありがとうございます。

デジタルビデオカメラ (以下、「DV カメラ」と表記します) と DV 編集用コンピュータシステムに CitiDISK DV2 (以下、「本機」と表記します) をプラスすれば、ビデオ映像をリアルタイムにハードディスクへ直接保存することにより、再キャプチャをすることなくスムーズに編集作業が行えるようになります。

更に、ディスクへ記録する際のファイル形式を、DV 形式、Microsoft DV AVI、QuickTime MOV、Canopus DV AVI の中から選択することができ、システムにあわせた、柔軟で効率の良い作業を可能とします。

また、本機は多数のコンピュータプラットフォームとオペレーティングシステムをサポートしますので、ビデオファイルやその他のデータを、各プラットフォーム間でシームレスに効率良く転送を行うことができます。

この取扱説明書は、本機の豊富な機能を詳細にガイドする役目を果たします。

1 はじめに

本機の主な仕様と特徴、インストールに必要とされるハードウェア、ならびにそれぞれの機能についてもカバーします。

2 基本仕様

本機の記録容量、互換性、その他本機を操作し始める前の有用な情報を記述しています。

3 操作説明

それぞれの機能をどのように実行するべきかを、ステップ・バイ・ステップでイラストにより説明します。

4 ユーティリティのインストール

どのようにインストールするか、「ユーティリティーセットアップ」の使い方を説明します。

5~8 使用方法

本機をそれぞれのオペレーティングシステムにおいてどのように接続するかについて説明しています。

9 付録

追加のインフォメーションとして、仕様書と、テクニカル・サポートを得る方法を含んでいます。

本機が適切にセットアップされていれば、DV カメラ、およびコンピュータ周辺機器は、以前とまったく同じように操作することが可能です。

1.1 特徴

通常、ビデオのストリームは磁気テープ（例えば、MiniDV テープ）に記録されます。そのビデオを編集する時には、そのテープを巻き戻して再生し、映像データをコンピュータへ転送（再キャプチャ）しなくてはなりません。本機は、リアルタイムに映像をハードディスクへ直接録画できますので、その面倒なプロセスを一切無くすることができます。

ビデオ映像は、本機のハードディスクに、ユーザーが選択したファイル形式で保存されます。本機をコンピュータに接続すれば、専用フォルダ内にそれらの映像ファイルを容易に見つけることができ、必要なことがすぐに実行できます。

カメラモード・再生モードでの DV 録画

カメラモードに設定した DV カメラから映像を録画する、あるいは再生モードに設定した DV カメラからテープのプレビュー再生で映像を録画できます。

DV 編集、DV レンダリング

本機は、録画した映像を、「Clipxxvy.拡張子」(命名規則は後述)といったファイル名で保存します。再キャプチャを行わないで、そのファイルを直接開く、あるいはインポートすることが可能です。

FireWire ハードディスクとしての使用

映像ファイルを編集、処理後に、本機へそれらを書き戻して保存しておくことができます。パソコンに接続されている間は、FireWire ベースの外付ハードディスクとまったく同じように機能します。DV キャプチャを行っていないときは、本機をあらゆる種類のデータ保存目的のために使うことができます。本機は、S400 仕様のデータ転送モード (400Mbps) に対応しているため、実際にハードディスクとして用いる場合にも、十分な性能を発揮します。

内部バッテリーおよび外部電源入力について

DV カメラの i.Link ポートは電源の供給を行わないため、本機は、再充電可能なリチウムポリマーバッテリーを内蔵しています。また、同梱の AC アダプタでの駆動もサポートされています。

クイック消去

もしパソコンが利用できない場合でも、保存された映像ファイルを一括消去することができます。

ユーティリティソフトウェア

Windows、Mac OS 9.2.x 用ハードディスクパーティション/フォーマットユーティリティが含まれています。

1.1 記録可能なファイル形式

本機は、DV 形式、Microsoft DV A V I、QuickTime MOV、Canopus DV A V I で記録することができます。

参照 ... 9.4 ファイル形式の概要

1.3 パッケージ内容

本機には以下のコンポーネントが付属しています。

- CitiDISK DV2 本体
- FireWire (IEEE1394A) ケーブル 6pin <-> 6pin (1.5m)
- i.Link ケーブル 6pin <-> 4pin (1.5m)
- ユーティリティソフトウェア CD
- AC アダプタ
- キャリングポーチ
- 保証書
- 取扱説明書 (本書)
- クイックユーザーガイド

2 基本仕様

2.1 サポートするコンピュータシステム

FireWire (IEEE1394A/i.Link) インタフェースポートを持つ、デスクトップ、ラップトップシステム。

- Windows パソコン (インテル互換 CPU ベースのパソコン)
- Macintosh (アップル PowerBook ・ Power Macintosh)

2.2 サポートするオペレーティングシステム

Windows ME	
Windows NT4. x	x
Windows 2000	
Windows XP	
Mac OS 9.2.x	
Mac OS X 10..2 以上	

2.3 録画時間

ディスク容量	40GB	60GB	80GB
録画時間 (目安)	160 分	240 分	320 分

2.4 互換 DV カメラ

本機は、「MiniDV」, 「DVCPRO」あるいは「DVCAM」のどれかをサポートし、i.Link ポート (DV ポート) を装備している DV カメラで使用することができます。

映像入力 (DV-IN) からの映像を記録することができる DV カメラもありますが、本機から DV カメラへの映像出力はサポートされていません。

2.5 ファイル形式

ファイル形式	拡張子
DV 形式	.dv
Microsoft DV AVI	.avi
QuickTime MOV	.mov
Canopus DV AVI	.avi

キャプチャされた映像は、「Clipxxxy.拡張子」(xxyy は数字、拡張子はそれぞれのファイル形式のもの) という名前で映像ファイルとして保存されます。

映像ファイルの命名規則は、FAT32 の4GB のファイルサイズ限界を超えないようにすることと同時に、iMovie プロジェクト ファイル仕様に従っています。それぞれのファイルは、NTSC と PAL システムのために、最大 1.8GB にセットされます。もし映像ファイルの大きさが 1.8GB より小さい (およそ 9 分) 場合、それは記録データに合わせて「Clip0000.dv」, 「Clip0100.dv」などと命名されます。映像ファイルの大きさが 1.8GB より大きくなる場合は、1 つの記録データに対して、2 つあるいはもっと多くの映像ファイルが作られ、「Clip0000.dv」, 「Clip0001.dv」などと名前がつけられ保存されます。

本機は FAT32 ファイルシステムのみをサポートしています。HFS+ ファイルシステムはサポートしません。

2.6 バス電源と外部電源について

i.Link ポートのみしか実装していない DV カメラやコンピュータを除いて、ほとんどのシステムの FireWire ポートから、本機へ電力を供給することができます。FireWire ポートはドライブの動作のための電源を供給しますが、バッテリーを充電する時には追加の外部電力を必要とするかもしれません。本機には AC アダプタが付属しています。

付属の AC アダプタは、本機でのみ動作するように設計されています。本機に他の AC アダプタを使用する、または付属の AC アダプタを他の機器で使用する事は、おやめください。

2.7 内蔵リチャージブルバッテリー

本機には、およそ 80 分の録画ができるように設計された再充電可能なリチウムポリマーバッテリーが内蔵されています。

バッテリーは出荷後、自然放電していることがあります。ご使用前に、2~4 時間程度、FireWire ポートへ接続、あるいは AC アダプタを接続して、再充電する必要があります。

3 操作説明

3.1 注意事項

落下させる、ぶつける等の衝撃を与えたり、極端な振動を与えたりしないでください。本機は、ラップトップで使われているような 2.5 インチのハードディスクを内蔵しているということを念頭においてご使用ください。特にビデオ録画の間には、本機を慎重に扱ってください。

3.2 主電源スイッチ（バッテリーからの電力供給スイッチ）のオン・オフ



主電源スイッチはパネルの前部、REC ボタンのすぐ横に位置しています。白い点のある位置へスイッチをスライドさせた時、主電源スイッチがオンの状態となります。ご使用になる前には主電源スイッチをオンにしてください。保管中あるいは輸送中にはバッテリーの消費を避けるために主電源スイッチをオフにしてください。主電源スイッチがオフにセットされていても、バッテリー充電機能には影響を与えません。

工場出荷時には主電源スイッチはオフにセットされています。

3.3 DVカメラとケーブルを安全に保つ

付属 i.Link ケーブル（4pin<->6pin）の 4pin 側を DV カメラの i.Link ポートへ垂直に差し込んでください。ケーブルを手のひらで固定し安全に保ってください。不完全な接続は、結果的にビデオの品質が悪くなったり、録画が中断されたりといったことの原因となります。



3.4 ベルトに装着する

下図のように本機をキャリングポーチ内のバンドで固定します。



ポーチのジッパーをケーブルが通るように閉めて背面のベルト通しを使ってベルトへ装着します。

3.5 電源のオン・オフ



PWR ボタンを押すことによって、本機の電源がオンになります。本機が DV カメラやコンピュータからのデータに同期するまで、PWR ボタン（緑）と REC ボタン（赤）は同時に 1 秒間隔で点滅を始めます。このプロセス全体はおよそ 10～15 秒続きます。PWR ボタンが点滅をやめ、REC ボタンが消灯した時点で、録画やファイルアクセスができる準備ができています。

もし本機と DV カメラやコンピュータが接続されていない場合は、PWR ボタン、REC ボタン共に点滅したままとなります。この場合も、本機と DV カメラやコンピュータを接続すれば同期を確立させることができます。

3.6 バッテリー充電と外部電源



- ACアダプタを本機の電源ソケット（「6-18V」という表示があります）と接続するか、本機とコンピュータのFireWireポート（電力を供給できる6pinのポート）を付属FireWireケーブル（6pin<->6pin）で接続します。
- バッテリー充電は、FireWireポートの供給電源、またはACアダプタが利用可能である場合で、かつディスクアクセスをしていない間に行われます。
- 完全にバッテリーを充電するために、どれくらいの時間を要するかは、電源供給源に依存します。もしFireWireポートの供給する電源によって充電する場合は2~4時間程度、ACアダプタで充電する場合2時間程度を要します。
- 充電中は、RECボタン横のLED（青）が点灯します。バッテリーがフル充電された場合には、LEDは消灯します。

初めてご使用になる前に、少なくとも4時間程度の充電をなさる事をお勧めします。

3.7 記録するファイル形式の設定

<_ 注意! >

以下の操作は、必ず外部電源を接続した状態で行ってください。また、操作が完了するまで、電源を切りたりにないように、十分注意の上行ってください。

- DVカメラやコンピュータに接続している場合は、適切に取り外し、本機の電源をいったん切ってください。
- 外部電源を接続した後、本機の電源をオンにします。
- RECボタン（赤色）が点滅するまで待ちます。
- RECボタンを5秒以上押したまま、その状態を保ちます。
- RECボタンを離すと、現在の設定をPWRボタンとRECボタンの組み合わせで表示します。以下の対応表で確認してください。（初期状態は、DV形式に設定されています。）

その後には、 R E	ファイル形式	PWRボタン (緑)	RECボタン (赤)
	DV形式		(消灯)
	Microsoft DV AVI	(消灯)	(点灯)
	QuickTime MOV	(点灯)	(消灯)
	Canopus DV AVI	(点灯)	(点灯)

Cボタンを押すたびに、設定が順番に切り替わります。希望のファイル形式に切り替わったら、そのまま10秒間放置します。

- 両方のボタン（PWR、REC）が3秒程消灯した後、すばやく点滅を始め、内部メモリに新しい設定を書き込んでいることを示します。（約10秒）
- 設定の変更が正常に行われたら、両方のボタンが通常の状態に戻ります。もし、再度違うファイル形式を選択したい場合は、いったん本機の電源を切り、再度最初からやり直してください。

3.8 カメラモードでの録画

- 本機とDVカメラを付属i.Linkケーブル（6pin<->4pin）で接続してください。
- 6pinは本機、4pinはDVカメラのi.Linkポートに接続します。
- DVカメラをカメラモードに設定します。
- 本機とDVカメラの電源を入れます。
- PWRボタン（緑色）の点滅が止まり、RECボタン（赤色）が消灯するまで待ちます。
- DVカメラの録画ボタンを押すことによって、本機も自動で記録を始めますが、DVカメラによっては自動録画を開始しないものもあるかもしれません。その場合は、本機のRECボタンを押します。
- RECボタンは赤色に点灯します。多くのDVカメラは、テープカートリッジが挿入されているが、録画をしていない場合には、10~15分程度でDV出力をいったん中止します。それ以上の時間を録画する場合は、テープにも並行して録画を行う必要があります。
- アクセスLEDの色が青色から明るい紫色に変化して、録画をしていることを示します。（本機がハードディスクを読み書きしている間には、アクセスLEDの色が変化します）
- DVカメラの録画ボタンを放すか、本機のRECボタンをもう一度押して録画を終了します。

もし、RECボタンが押されている間も、アクセスLEDの色が変化しない場合、録画するのをやめ、DVカメラの電源をオフにし、再度本機のPWR、RECボタンが点滅するまで待ちます。次にDVカメラの電源をオンにして、本機のPWR、RECボタンの点滅が止まってから、RECボタンを押してください。それからは通常のRECプロセスを行うことができます。次に説明する「再生モード」での録画でも、同じ現象のときはこのプロセスが必要となります。

3.9 再生モード（VCRモード、VTRモード）での録画

「再生モード」とは、テープを再生している状態のことです。製品によっては、「VCR (Video Cassette Recorder) モード」、「VTR (Video Tape Recorder) モード」等と呼ぶ場合があります。

- DV カメラを再生モードに設定し、DV カメラの電源を入れます。
- PWR ボタン（緑色）の点滅が止まり、REC ボタン（赤）が消灯するまで待ちます。
- DV カメラの LCD 画面からビデオを見ることができるようになったら、DV カメラでテープを再生し、REC ボタンを押してください。
- テープが再生されていない間に REC ボタンが押された場合は、再度 REC を押して中止するか、テープが再生されるまで、ビデオ入力を待ちます。
- 再度 REC を押した時、ビデオストリームのギャップ、あるいはテープの終端に来た時、REC プロセスは終了し、映像ファイルは自動的に閉じられます。
- もし、テープ上の 2 つの異なったビデオストリームにギャップがあり、最初のビデオストリームの終わりまでテープが停止した場合、その最初のビデオストリームだけが記録され、REC プロセスは終了します。必要であれば、次のストリームのスタートに送り、再度 REC ボタンを押さねばなりません。
- テープ全体を複製する方法はありません。もし空のギャップがあるなら、DV カメラは再生をスタートしないであろうし、本機はいつ新しいビデオストリームが入力されるかを知る方法を持たないからです。

ディスク残量警告 - 最大記録容量に達したとき、REC ボタンは 0.5 秒間隔で点滅します。それ以上の録画は、約 1 分後に強制終了させられ、その後の REC 機能は禁止されます。

バッテリー残量警告 - バッテリーの下限にきた場合、自動的に録画を強制終了させて、シャットダウンします。もし低いバッテリーパワーで電源を入れた場合、PWR ボタンは 0.5 秒間隔で点滅し続け、それ以上の REC 機能は禁止されます。

3.10 クイック消去



5 秒以上押してから放してください。

- DV 録画をするように、本機と DV カメラを再び接続して、クイック消去ボタンを 5 秒以上押してから放します。本機の Media フォルダの中のファイルを消去する間、アクセス LED が数秒間（時間はファイル数によります）点滅します。Media フォルダ外のファイルは、消去されません。
- クイック消去はカメラモードでのみ利用可能です。再生モード、コンピュータアクセスモードの場合、およびケーブルが接続されていない場合には無効となります。

3.11 外部 FireWire ハードディスクとして使う

- 本機は FAT32 の単独パーティションとして前もってフォーマットされています。Windows、Mac OS、それと Linux オペレーティングシステムに互換性があります。システムはそれを通常の外部 FireWire ハードディスクとして認識します。
- Quick Time、Final Cut Pro、Premier、iMovie、その他の編集用ソフトウェアで、「開く」、「クリップをインポートする」等の機能を通して、映像ファイルをレビューすることができます。
- 映像ファイルの日付には DV カメラの時計設定が適用されます。
- Windows ではスキャンディスク（チェックディスク）をかけます。「マイ コンピュータ」フォルダの中の「DVDisk」ドライブを右クリックします。メニューから「プロパティ」をクリックし、「ツール」タブを選択します。エラーチェックを選択し、ボタンを押したらウインドウが開きますので「ファイルシステムエラーを自動的に回復する」チェックボックスをクリックしてください。ディスクチェック終了後、「DVDisk」ドライブを開き、もし「FOUND.xxx」（xxx は数字）というファイルがあれば、ファイルシステムに何らかのエラーがあったことを示しています。

Scandisk は、Macintosh にはありません。

- 映像ファイルは Movie ディレクトリ内の Media フォルダに保存されます。このフォルダに他のファイルを入れないでください。
- 映像ファイルの命名規則
FAT32 の 4GB のファイルサイズ限界を超えないようにすることと同時に、iMovie プロジェクト ファイル仕様に従っています。それぞれの映像ファイルは、NTSC と PAL システムのために、最大 1.8GB にセットされます。もしファイルの大きさが 1.8GB より小さい（およそ 9 分）場合、それは記録データに合わせて「Clip0000.dv」、「Clip0100.dv」等と名前がつけられ保存されます。映像ファイルの大きさが 1.8GB より大きくなる場合は、1 つの記録データに対して、2 つあるいはもっと多くの映像ファイルが作られ、「Clip0000.dv」、「Clip0001.dv」等と名前がつけられ保存されます。
- 本機は他の外部 FireWire ハードディスクと同じように動作します。他のハードディスクと同じように扱え、（Media フォルダのみが映像ファイルのために予約されていることだけを除き）制限もありません。Media フォルダには他のファイルをコピーしないでください。Media フォルダ内の全てのファイルは、クイック消去機能を使用すると全て消去され、失われてしまいます。

4 ユーティリティのインストール

4.1 ユーティリティのインストール (Windows)

ユーティリティソフトウェアをインストールすることで、本機をパソコンからメンテナンスする上で有用な機能が追加されます。ユーティリティソフトウェアの詳細は、CD-ROM 内の「Docs」ディレクトリにあります。(英語)



通常は、ユーティリティ CD を CD-ROM ドライブに挿入した時点で、自動的にインストールプログラムが開始されます。もしインストールプログラムが開始されない場合は、次のステップでインストールプログラムを開始してください。

- 1) ユーティリティ CD を CD-ROM ドライブに挿入します。Windows のデスクトップから「マイコンピュータ」を開き、CD-ROM ドライブアイコンをダブルクリックします。
- 2) もし、インストールプログラムがまだ実行されなければ、「Setup.exe」をダブルクリックし、インストールプログラムを起動します。
- 3) 「Install Utilities」を選択してユーティリティのインストールをします。簡便なインストールのために、標準の場所へインストールすることをお勧めします。(希望の場所にユーティリティをインストールすることもできます)

- 4) インストール中に、既存のファイルを更新しようとするかもしれません。ファイル置換の確認を求められたときは、常に最新のバージョンを保持するようにしてください。
- 5) インストール完了後に、「Shining Utilities」ショートカットアイコンがデスクトップに作られます。
- 6) ユーティリティをアンインストールする場合は、スタート>設定>コントロールパネル>アプリケーションの追加と削除、から行います。アンインストール完了後は、「Shining Utilities」ショートカットアイコンを手動で削除してください。

「Shining Utilities」ショートカットをダブルクリックすれば、ユーティリティのメインメニューが起動します。



4.2 ユーティリティのインストール (Mac OS 9.2.x)

ユーティリティソフトウェアをインストールすることで、本機をパソコンからメンテナンスする上で有用な機能が追加されます。ユーティリティソフトウェアの詳細は、CD-ROM 内の「Docs」ディレクトリにあります。(英語)

通常は、ユーティリティ CD を CD-ROM ドライブに挿入した時点で、自動的にインストールプログラムが開始されます。もしインストールプログラムが開始されない場合は、次のステップでインストールプログラムを開始してください。

- 1) ユーティリティ CD を CD-ROM ドライブに挿入して、CD ドライブアイコンをダブルクリックします。
- 2) もし、インストールプログラムがまだ実行されていない場合は、「Setup」をダブルクリックし、インストールプログラムを起動します。
- 3) 表示される指示に従ってインストールしてください。
- 4) インストール中に、若干の既存ファイルを更新するかもしれません。ファイル置換の確認を求められたときは、常に最新のバージョンを保持するようにしてください。
- 5) ユーティリティのアンインストールは、Shining Utilities フォルダを選択し削除してください。



ユーティリティは、Mac OS 9.x 上でのみ動作します。サードパーティの外部ドライブもサポートしません。

5 使用方法 (Windows 2000/XP)

5.1 ディスクへの署名

ディスクをシステムに最初に接続したときに、Windows2000 は「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」を起動させるかもしれません。これを行ってもハードディスクのデータに害はありません。もし、ウィザードが起動された場合は、「次へ」ボタンをクリックしてください。



ディスク 2 ((システムによって異なります) をチェックし、「次へ」をクリックします。



「アップグレードするディスクの選択」では、チェックをしないで「次へ」をクリックします。



ウィザードが終了したら、「終了」をクリックしてダイアログを閉じます。

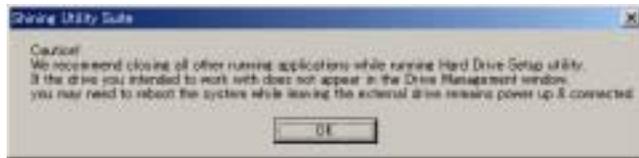
5.2 フォーマット/パーティション作成 (Windows 2000/XP)

本機はあらかじめフォーマットされた状態で出荷されています。通常は必要ではありませんが、もし、フォーマット/パーティション作成が必要になった場合は、以降のガイドに従って再フォーマットしてください。

「Shining Utilities」ショートカットをダブルクリックして、ユーティリティを起動します。



「Hard Drive Setup」を選択すると、以下のダイアログボックスが表示されます。「OK」を押して作業を進行させます。



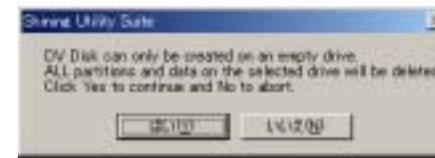
「DVDisk」を作成するために、「はい」をクリックしてください。



ターゲットドライブ（例では、Fドライブ、システムによって異なります）を選択し、「Create DVDisk」ボタンをクリックしてください。この時、ほかのディスクを誤って選択しないでください。



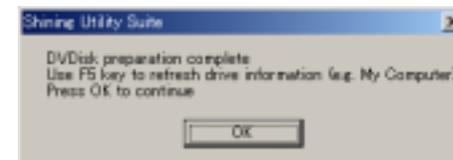
確認のメッセージが表示されますので、「はい」を選択して、作業を進めてください。「いいえ」で作業を中止することができます。（ディスク内の全てのデータは消去されてしまいますのでご注意ください）



プロセスの進行状況が表示されます。終了まで数分を要するかもしれません。



プロセスが完了したことを告げるダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。



「Cancel」をクリックして「Shing Utilities」を終了させてください。

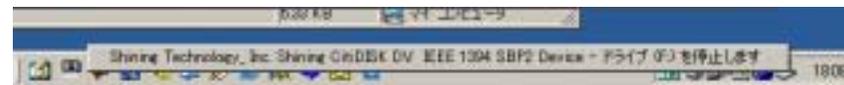


マイコンピュータ フォルダから、「DVDisk」というラベルのドライブを開き、「Movie」フォルダと、「Movie」フォルダ内の「Media」フォルダと「Project」ファイルが存在しているかどうかを確認してください。



5.3 ドライブの取り外し (Windows2000/XP)

本機を取り外す前に、タスクバー右端の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして表示されるドライブ一覧から本機を選択します。



システムがレジストリその他を更新したら、確認のダイアログボックスが表示されます。OK を押してダイアログを閉じてください。これで安全に取り外せるようになります。

6 使用方法 (Windows ME)

6.1 ソフトウェアドライバのインストール

Windows ME にはロードするために必要なドライバはありませんが、必要な OS サービスパックのすべてをインストールするようにしてください。

6.2 フォーマット/パーティション作成 (Windows ME)

プロセス全体は プロセス終了後にリポート (再起動) が必要なこと以外は、Windows2000/XP のセクションで記述されたものとまったく同じです。本機に必要な情報が書き込まれた後、すぐリポートをするように要求されます。

6.3 ドライブの取り外し (Windows ME)

上に記述されている「ソフトウェアドライバのインストール」を先に行ってください。 そうしない場合は、後述の「ハードウェアの取り外し」アイコンは現われません。ドライブアイコンは表示されますが、システムに通知せずに、ドライブを取り外した場合、システムはハングアップします。

本機を取り外す前に、タスクバー右端の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「1394/USB ディスク-ドライブの停止」を選択します。



システムがレジストリその他を更新したら、確認のダイアログボックスが表示されます。OK を押してダイアログを閉じてください。これで安全に取り外せるようになります。

7 使用方法 (Mac OS 9.2.x)

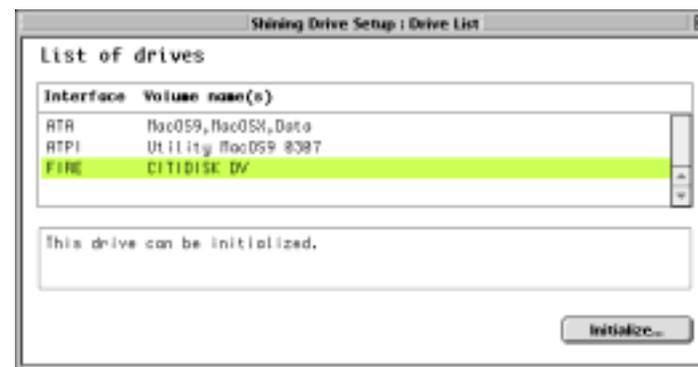
PC エクスチェンジ機能がオンになっていることを確認してください。そのために、「Apple」>「コントロールパネル」>「エクステンションマネージャ」で、「パソコンエクスチェンジ」を選択してください。

7.1 フォーマット/パーティション作成 (Mac OS 9.2.x)

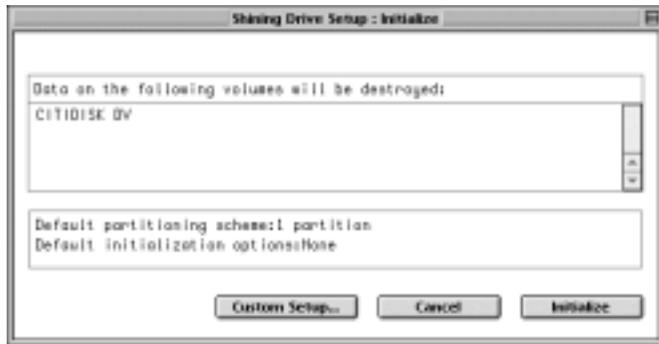
本機を接続して、「Shining Utilities」を起動してください。



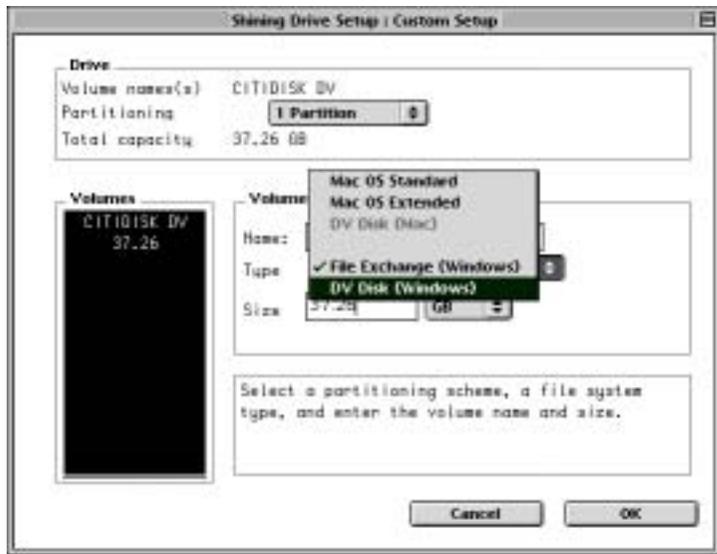
ウィンドウの中央、「Shining Drive Setup」をクリックします。更に、「CITIDISK DV」をクリック、「Initialize」ボタンをクリックします。



ドライブラベルを確認してください。「Custom Setup」で先へ進みます。



最も重要なことは、「DV DISK (Windows)」を選択することです。「OK」をクリックし、「Initialize」でフォーマット/パーティション作成が開始されます。「DV DISK (Mac)」を選択しないでください。現時点ではサポートされていません。



プロセスが終了したら、システムがプロンプトを表示します。「OK」をクリックしてください。その後ユーティリティを終了させます。

「本機」ドライブアイコンを開いて、Movie フォルダ、Movie フォルダ内の Media フォルダと Project ファイ

ルが存在しているかどうかを確認してください。

本機は、分割されていない1つの FAT32 形式としてフォーマットされます。HFS+はサポートされていません。

7.2 ドライブの取り外し (Mac OS 9.2.x)

ケーブルを抜く前に、「本機」ドライブアイコンをゴミ箱へドラッグします。

8 使用方法 (Mac OS X)

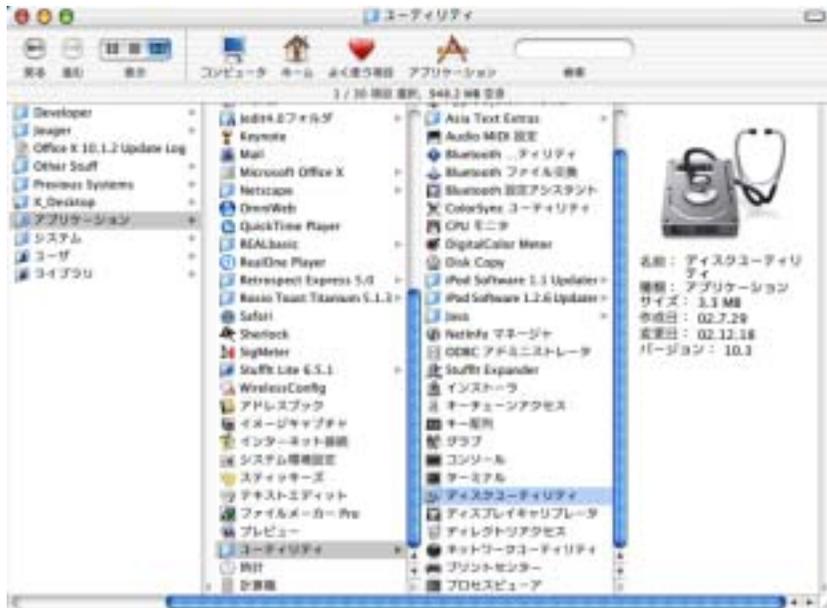
8.1 Mac OS X で iMovie を使用する

Mac OS X では、iMovie3 以降に対応しております。iMovie を利用する場合はバージョンを確かめてご利用ください。

8.2 フォーマットパーティション作成 (Mac OS X)

Mac OS X でフォーマットパーティション設定を行った場合、本機は FAT32 フォーマットの単一のボリュームになります。従って、パーティションが存在せず、FAT32 フォーマットであるにもかかわらず、Windows システムとは互換性を持ちません。

- 1) Mac OS X では、「Applications」>「Utility」で「ディスクユーティリティ」を利用します。システムに本機を接続して、「ディスクユーティリティ」を起動してください。



- 2) ドライブリストから「Shining」を選択、一番上のメニューバーで「消去」機能をクリックし、そして同

じく「ボリュームフォーマット」から、「MS-DOS」を選択してください。これは、Mac OS X でパーティション作成/フォーマットをする際に一番重要なことです。ボリューム名を「CITIDISK DV」と入力してください。「消去」をクリックして、作業を進めます。



プロンプトが表示されたら、OK をクリックして作業を進めてください。プロセスの進行中に「ディスクの消去中」、その他プロセスの進行を示すメッセージが表示されるでしょう。その都度「OK」をクリックして作業を進めてください。

HFS+ は現時点ではサポートされません、フォーマットの際には必ず「MS-DOS」を選択しなくてはなりません。

- 3) 最後にユーティリティ CD の「Utilities」フォルダの中の「Movie」フォルダを本機へコピーしてください。

8.3 ドライブの取り外し (Mac OS X)

ケーブルを抜く前に、「本機」ドライブアイコンをゴミ箱へドラッグします。

9 付録

9.1 仕様

インターフェース	IEEE1394A 1ポート SBP-2、Isochronous video streams
転送速度	最大 12Mbyte/sec
外部電源	+6 ~ +18V DC
内蔵バッテリー	リチウムベースバッテリー、約 80 分使用可能(環境により異なります)
動作温度	0 ~ 55
相対湿度	最大 95%
保管温度	-22 ~ 65
重量	約 250g

9.2 編集用ソフトウェア対応表

本機のサポートするファイル形式を正しく扱えるソフトウェアであれば、使用することができます。

下表は、代表的な編集用ソフトウェアの対応表です。

ソフトウェアは全て米国版で検証しています。

ソフトウェアの動作につきましては、完全な互換性を保障するものではありません。

編集ソフトウェア	対応ファイル形式
Adobe Premier 6.0 on Windows XP	Microsoft DV AVI
Apple Final Cut Pro, Express in Mac OS's	QuickTime MOV
iMovie3 on Mac OS X	DV 形式
Quick Time in Windows2000, XP and MacOS's	QuickTime MOV、DV 形式
Avid Xpress DV3.0 on Windows2000, XP and MacOS's	*
Canopus DV Storm	Canopus DV AVI
Edirol Standalone Editing Station	DV 形式
MacroSystem / Casablanca Standalone Editing Station	DV 形式
MainConcept EVE 1.0	DV 形式
MGI(Roxio) VideoWave	Microsoft DV AVI
Media100 Cinestream in MacOS	Microsoft DV AVI
Pinnacle Studio	Microsoft DV AVI
Sonic Foundry Vegas 3.x	Microsoft DV AVI
Sonic My DVD	Microsoft DV AVI
Ulead Media Studio and Video Studio	Microsoft DV AVI

* Avid Xpress は専用の OMF ファイル形式を使用しますが、AVI、または MOV 形式のファイルをインポートして使用することができます。

9.3 ファームウェアのアップデート (Windows のみ)

ファームウェアのアップデート作業はお客様の自己責任において行ってください。作業手順の間違いや書き込み作業失敗によって本機が故障した場合、保障期間中でも有償修理扱いとなります。

ファームウェアを更新する前に、

「ファームウェアアップローダーのインストール (Windows)」セクションをチェックしてください。

ファームウェアとは本機に組み込まれているソフトウェアで、電源がオンの間、自動的に読み込まれます。通常アップデートは必要ありませんが、必要であれば、最新のファームウェア更新がないか <http://www.shining.com> をチェックしてください。

ファームウェアは「fw1256-oxfw911-1018C2002.zip」の様に、モデル・CPUモデル・更新日付・リビジョン番号で名前がつけられています。「w1256 (モデル)-oxfw911 (CPUモデル)-10 (月)18 (日)C (リビジョン)2002 (年)」

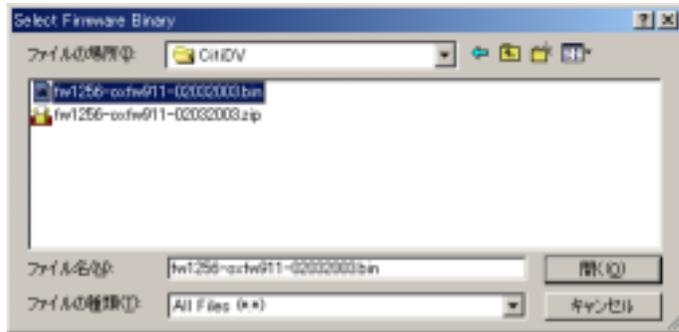
ファイルは圧縮されているので適用前に解凍しなくてはなりません。

ファームウェアアップローダーのインストール後は「Firmware Uploader」ショートカットアイコンがデスクトップ上に作られます。ダブルクリックで、ファームウェアアップローダーが開始されます。



「Upload / Upgrade Device Firmware」ボタンをクリックしてアップデートプロセスを開始します。「Modify

Device Configuration Setting」ボタンは絶対に選択しないでください。コンフィギュレーション設定はあらかじめセットされていますので、指示がない限り、それを変える必要はありません。インストラクションに従って作業を進めていくと、システムはファームウェアターゲットを指定するよう求めてきますので、ダウンロードして、圧縮を解凍したファイルを選択してください。



「開く」をクリックして、作業を進めます。本機に新しいファームウェアを書き込んだら、「Done」メッセージが表示されます。継続するために「OK」をクリックしてください。「Firmware Updater」は、アップデートが終了した時点で、設定を更新し、メニューの最下部にアップデートされたファームウェアの日付を表示します。

アップデート作業の前に、他の進行中のプロセスはすべて終了させてください。同じく、本機ディスク上のファイルをすべて閉じてください。アップデートにはしばらく時間がかかるかもしれませんが、アップデートの間、システムは本機との接続を何回かリセットするかもしれませんが、それらについては心配する必要はありません。

9.4 ファイル形式の概要

DV 形式	生の DV データ (raw-DV) を記録したファイルで、拡張子は dv となっています。 画像のクオリティは最高ですが、反面、記録効率はよくありません。
Microsoft DV AVI Canopus DV AVI	AVI は Windows でよく使用されるビデオフォーマットで、拡張子は avi となっています。基本的には、静止画像と音声の組み合わせを同期化したもので、RIFF 形式** で記録されています。 AVI では、ファイルの圧縮・伸張をコーデック*** として独立させているため、さまざまな種類の圧縮技術が使われています。従って、作成時に使用されたコーデックを理解しないプレーヤーでは、同じ avi という拡張子であっても再生することはできません。 更に、DV から作成する AVI には、AVI-Type1、AVI-Type2 といった種類があります。Type1 は、オーディオストリームとビデオストリームを単一のストリームとして記録するのに対し、Type2 はそれらを分割して記録します。 本機では、Microsoft DV と Canopus DV コーデックを使用した AVI が作成できます。どちらも AVI-Type2 となっています。
QuickTime MOV	Macintosh でよく使用されるビデオフォーマットで、拡張子は mov となっています。Apple が開発した QuickTime は、画像、テキスト、MIDI 等、様々なメディアを統合できる強力なマルチメディアフォーマットです。Windows でも、Apple が配布している QuickTime プレーヤーにより再生することができます。

** RIFF 形式

IBM と Microsoft が開発したファイル形式。一つのファイル内に色々なデータを入れることができる。

*** コーデック (Codec)

Compression / Decompression を略したもの。容量の大きな動画ファイルなどを圧縮・伸張するための一

種のドライバ。